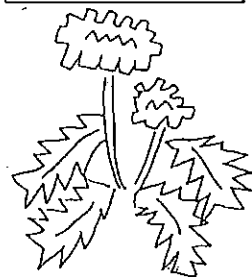


**たんほほ**

NO 1 3 1  
H10年 5月 1日  
— 発行 —  
〒869-1217  
熊本県菊池郡  
大津町森 54-2  
社会福祉法人  
三気の会  
**三気の里**  
☎096-293-8100



桜の木の下の

佐藤 由美



親も年を取って

施設長 田中 稔

この文章を書いている机の前のカレンダーに、白水村にある桜の銘木「一心行の大桜」のカラー写真がのっています。今年の桜の開花時期は、例年より長かったようですが昨夜の雨で散ってしまいました。花びらの絨毯という言葉があります、桜の花の散り方はこの言葉にピッタリの散り方をする事が実感できます。

施設のある大津町の町花のツツジが、今真っ盛りです。

この時期、施設の用地の雑草も一斉に伸びて来ます。5千坪の広さがありますので、その雑草取りの作業も並大抵ではありません。

「三気の里」の毎月の保護者会には80〜90%の保護者が参加されます。こうした状況が十一年間にわたって続いていることに、保護者の方の子供への想いの深さを感じ

ます。施設は、こうした保護者の想いと共に育って来ました。

施設内外の環境整備を保護者会の前に、皆で続けて来ました。こうした行為は、何の益がある訳では有りません。参加された保護者は黙々と作業をされます。

先日、保護者会で、「自分たちも年を取って来たので、こうした草取りもしんどくなって来ました。春先は良いとしても、夏の暑い中の作業は、業者を頼んだらいかがでしょうか」と言う声があったと聞きました。出るべくして出た声であったと思います。子育てを終え、ほっと気が付いてみたら自分たちが年を取り、体力の衰えを実感する年になっていました。

子供と一緒に、できるだけ側にと、脇見をするゆとりさえなく、ただがむしやらに生きて来た人生であった保護者の方が、これから自分の老後のことを考えなくて

はならない時が来てしまいました。これからは、各保護者の体力、出来る範囲で施設とかかわっていただければ、と思います。

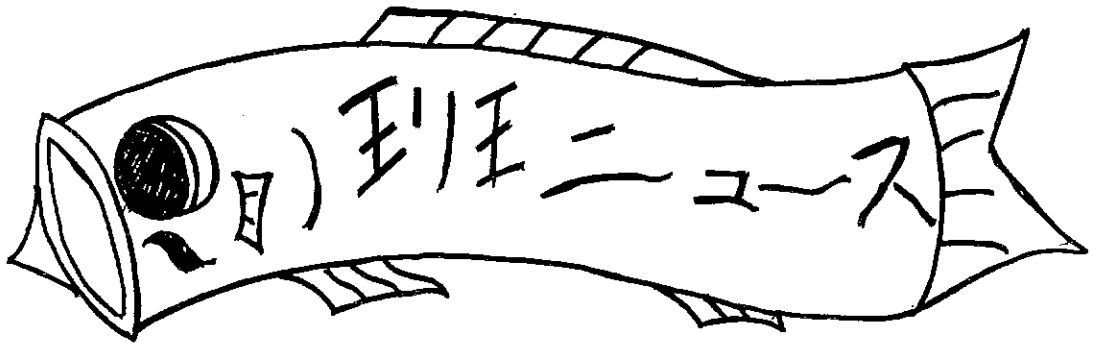
こうした保護者一人一人の無償の行為と共に、保護者会の役員を長年にわたってされ続けて、無償のお世話をされておられる保護者がおられます。その一方で、こうした行為に全く無関心な親もいます。こうした親に限って、口だけは一人前のことを言います。こうした事は「三気の里」の保護者だけのことではなく、県の親の会等でも見られる事です。

私たち親が子供と関われる期間は、もうそれほど長くはありません。関われなくなる時が、必ず来ます。互いにしんどいですが、出来る間は、親として出来ることをしてやりたいと思っています。



熊本城へ、娘と孫と3人で桜見物へ出掛けました。ヨチヨチ歩きの孫は、ピンク色に染まった木々を見上げて、何やらつぶやいては可愛らしい笑顔を見せる。孫の手を引き、ゆったりと桜の木の下にいて、20数年前、同じ場所で龍也を連れて、花見に来たのに、桜を見るより、龍也の後を追いかけて時が過ぎた事を懐かしく思い出しました。

桜の花が散り始めると、私と龍也の誕生日が来ます。龍也25歳。私の年の半分を生まれました。若葉の清澄しい季節に生まれ、25年。この季節になると、うれしいのか、悲しいのか、分からないような、胸が熱くなる時があります。今、週末近くになると、「お父さんおる」「お母さんおる」と確認する質問をし、我が家へ帰宅すると、ホッとした表情を見せる龍也。25年後、この場所で50歳になった龍也、25歳になった孫の美都と、皆で桜見物ができたら幸せだなーと思いつつ、薄ピンクに染まった木々を後にしました。



### 1班・柳川下り（散歩）

最近、園の中でよく目にするのは、園生達の笑顔と半袖のTシャツ。ふと、顔を上げるともう春も終わりに近づき、初夏の緑が目にとまります。

僕が、三気の里の園生と生活を共にするようになり、早いもので一カ月が経とうとしています。この一カ月は、園生から色々な事を学び、僕自身すごく成長できた充実した日々でした。

その中でも初めてのレクリエーションである柳川下りは、園生の三気の里外での行動や言動が見られるということで、大変興味がある事の一つでした。色々な期待と不安と共に出発。そんな僕の心とは裏腹に思ったより静かで楽しそうな姿。僕は、そんな園生達のおかげで、肩の力も抜け伸々と楽しむ事が出来ました。そして、今僕が一番楽しみなのは、そんな自然な姿がたくさん写った写真が出来ることです。きっと僕は新緑の中、みんなで散歩した事を忘れることはないでしょう。 笠松

### 2班・成長

新2班としてスタートして、はや1カ月が過ぎようとしています。作業内容は、昨年同様（ネット）ですが、メンバーが少し変わり、竹下君、八木指導員、榎本が加わりました。みんなそんな環境の変化に少しは戸惑いがあるものの、それぞれの役割（作業、掃除、生活等）をちゃんと果たしているようです。（私はというと、ネット作業の袋詰めに悪戦苦闘している毎日です。）

4月23日は、今年度初めてのレクリエーションに出かけました。場所は高森温泉館で、大広間でのんびりしたり、温泉に入ったりと心も体も静養するのに最適の場所でした。だいたい待たたりするのは苦手なみんなですが、今回はその時間で外の藤の花をみたり、お昼寝をしたり、おしゃべりしたりと自分なりに有効に使っていた気がしました。私たちにとっては何げないことですが、皆にとっては大きな成長ではないでしょうか。これからもこんな発見をどんどんしていきたいと思っています。

榎本

### 3班・近ごろの木工班

満開に咲いていた見事な桜も散り、雨が降るたび夏の気配を感じる季節となりました。4月は“行く人来る人”でした。指導員の今村さんの退職、竹下くんが2班へ移動などがあり少し寂しい思いをしましたが、新たな木工班メンバーとして、荒毛さんが入所され、5班から柴田くんと國岡指導員、新人の岩本が加わり、いろいろな期待？を胸に今年度もスタートしました。

現在の木工班といえば、家を型取った小さな置物作りと、散歩でしょう。“小さな家”は、元田くんが板から切り抜いた物を、希久男くんが主となりペーパーがけをしています。色付けの方は、なかなかデザインが思い浮かばず苦心しているところです。お散歩隊は、夏の匂いに誘われるように出掛け汗をかきながら、しかし表情はさすがに顔をしてニコニコと作業棟へ帰ってきます。

5月に入ると登山もあります、皆さん体調を崩さないようがんばりましょう。

岩本

#### 4班・みなさんよろしくお願ひします

新緑のさわやかな季節はどこへやら。雨続きの今日この頃、皆様如何お過ごしでしょうか？  
 農耕班は、この4月から藍ちゃん、英ちゃんが仲間入り（そしてよく目を凝らして見ると職員の吉田も仲間入り）作業服を素敵に着こなし、すっかり農耕カラーに染まっています。先日9日は新しいメンバーで初めてのレクレーションでお花見の予定でしたが雨に降られてしまい白水村の瑠璃温泉に行ってきた。桜を見ながらお弁当…を楽しみにしていた人は残念だったけど、帰りに高森をドライブしながら見た霧雨の中の桜もまた中々おつなものでした。

さて作業の方ですが…じゃがいも植えが終わり、これからトウモロコシ、なすび、きゅうりを植える予定です。そして今まで人ごとのように「大変ねー」と言い放ってきた雑草との戦いに参加できる喜び、「う〜ん」とうなったまま居眠りしてるフリしてしまいそうです。どうかみんなの元気パワーを分けて下さいよろしくお願ひします。すぐにポオーツとしてしまう私の頭をたたいて下さい。

これから春夏秋冬一緒に頑張ろうね。よろしくね!!

吉田

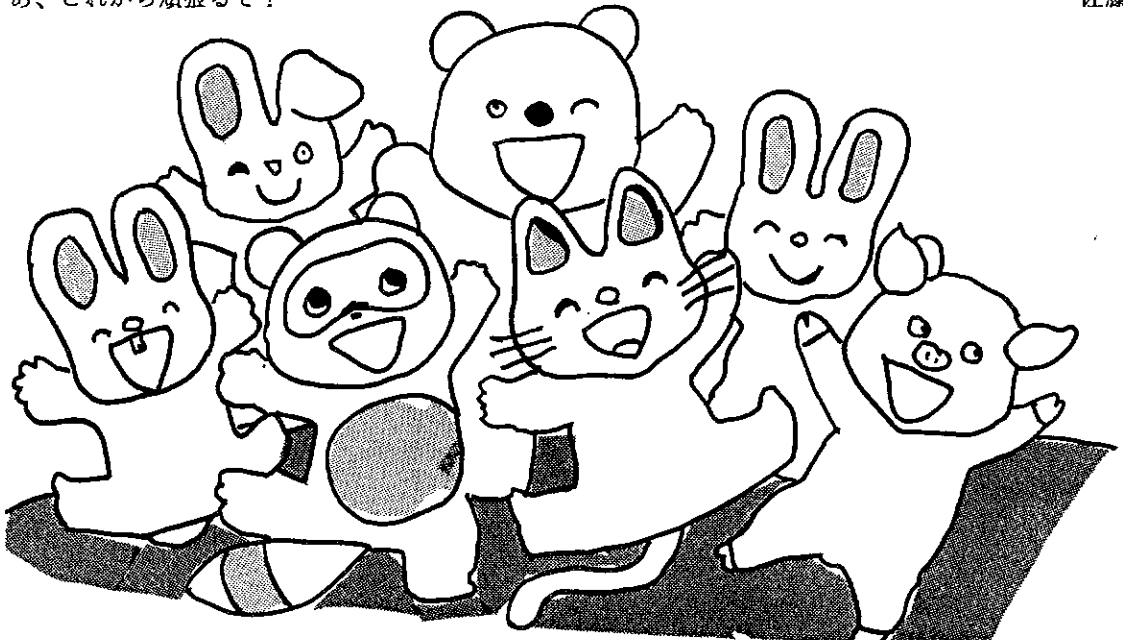
#### 5班・頑張るぞ！園芸班

4月といえば春。でも、えっ、もう梅雨なの？と思うほどジメジメな気候が続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、我らが園芸班でも今年度のスタートに当たり、若干のメンバーの変更がありましたので、お知らせ致します。農耕班から光紀君、職員では麻生由、関牟田、佐藤の4名が新たに加わり、園生14名、職員5名のメンバーでのスタートとなりました。

そんな中、去る4月16日は新5班になっての初めてのレクが行われました。天気は快晴。目的はハイキングと花見。場所は大津町の昭和公園。ということで初挑戦で歩いて出掛けることになりました。出足は快調だった皆の足も、次第にペースが落ちて、2時間後ようやく到着することが出来ました。つつじが満開の公園を、「散歩しようよ」と声を掛けても誰一人としてその場を動かさず、結局花見はせずにお昼寝タイムとなりました（職員も正直ホッとしたかも…）。お花見は出来なかったけど、ハイキングの目標は達成できたレクになりました。

新しいメンバーで、新しいことに挑戦し、新しい目標を達成できる、そんな班になれるように、さあ、これから頑張るぞ！

佐藤



他との「関わり」

木下 昭二

文献等の中に「自閉症或いは自閉的傾向にある」と診断された人達の中の特徴の一つとして、「他人に興味を示さない、お互いに関心を持たない」と言った表現が出てきます。三気の里の開所当初は確かに、言葉かけをしても反応が返ってこなかったり、色々とアプローチしても表情に乏しかったり、もっと極端な例では、廊下を歩いていても（物にでもぶつかるとくに）平気でぶつかって走り去って行く、といったことは日常茶飯事的なことでしたが、開園10周年を過ぎ11年目に入った今では、あの頃やその言葉さえも嘘の事のように思えてきます。最も、10年以上もひとつ屋根の下で一緒に過ごしているとか関心を持たざるを得ない、というのが皆（園生）の言い分かも知れませんが…。

話が終わってしまおうので、ここではあくまで「良い関わりと悪い関わり」と表現させていただきたいと思えます。）

世話好きのA君（職員間では待つのが苦手な…とも言っています）が、片付けるのが得意。友達が食べたおやつや牛乳の空やお菓子の袋までも片付けてしまおうとしてしまいます。一方B君は、本当は何でも自分で出来るので、が指示待ち傾向にある人です。ところがある朝、いつもは目が覚めていても職員が行って起こさないと起き出さないB君が、布団畳み、着替え、洗面を済ませて着替えを洗濯に出しに行ったら朝の集いの場所に座っていたので職員が驚き、早速担当職員に報告がありました。しかし何日もしないうちに、それはA君が一つ一つやらせてくれたことが判明しました。

C君は入所当時80kgあった体重が徐々に減って、今では50kg後半台までにスリムになった人。痩せてカッコ良くなったと皆に言われ上機嫌です。しかし、当時のズボンは何れもブカブカになりズリ落ちてしまうのですが、買い替えてしまうにはもったいなく、まだ本かはベルトで調整したりしてはいていました。その時のズリ落ちたズボンやジャージを上にあげるのがいつしか習慣になり、そのうち自分の事だけに止まらず誰に言われる事なく、他の男の園生のズボンやジャージも、出ているシャツもきちんと中に入れて上げてくれるようになりました。

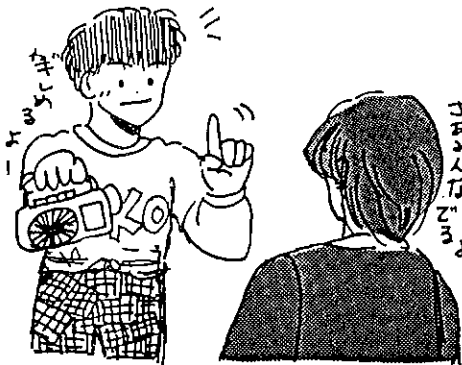
かと言ってA君C君にその事に対しての強迫的行動等がある訳ではありません。

A君C君共に、自閉及び自閉的傾向の診断がなされていて、その二人が誰に言われる事なくやり始めた（他の人と関わりを持った）事は、私自身として一つの大きな関心事となりました。10年前には到底想像も出来なかったことです。

しかしながら現状を暴露すると、A君の方は①本人の目覚めた時間でB君を起こしてしまうので早い時はAM5:30分頃でも起こしてしまう。②B君の自立心が育たない。C君の方はズボンを上げる事はばかりに気を取られて、上げ過ぎてしまう（裾から足が見えたりする）ので、適正な上げる位置を自ら覚えるまでは他園生のはさせない。との理由で二人共に中止させ

の方が良いのではと職員間で話しているところだ。

ここに挙げた二例は、良い面と、相手からすると必ずしもそうとは言えない面とが入り混じったものでしたが、良い関わりはどんどん増え、悪い関わりは出来る事なら無くなって、ひいては大きな意味での、抽象的な「他人を思いやる」(勿論、両親や兄弟姉妹、職員も含めて)といった気持ちをも多くの人が理解・共有出来るようになり、あちこちで「微笑ましい関わり」が、ごく自然の流れの中で見られるようになるよう、大きな目標を持ってこれからも皆と、関わって、共に成長して見守り続けていきたいと思えます。



第68回心理

リハビリテーション研修会

石井 康就

去る3月26日から4月2日までの7泊8日間の間、福岡県の夜須町にある「やすらぎ荘」へ、動作法の研修会に参加しました。

今回で68回目となり、全国各地からたくさんの方の参加があり、中にはマレーシアから参加した方や、今までずっとトレーニーとして参加し、今回から初めてトレーナーとしてキャンプに参加する方などもおり、大変驚かされました。

キャンプ初日は、トレーナーの研修会にあててあり、成瀬先生による講義やトレーナー同士で実際に訓練仕合ったり、討論する時間に多くの時間が割られました。二日目よりトレーニーも参加し、本格的な訓練に入りました。脳性麻痺の方への動作法は初めてで最初は戸惑う所もありましたが、あまり三気の里では行うことの少ない、ひざ立ちや立位での訓練は学ぶことが多くあり貴重な体験となりました。このキャンプで学んだ事を三気の里でも生かしていきたいと思えます。

新入職員紹介

岩本 洋子

4月から3班で働くことになりました。今は、早く皆の名前を覚えることを目標としています。



東内こずえ

4月から非常勤で働いています。東内こずえです。園生と一緒に頑張っています。

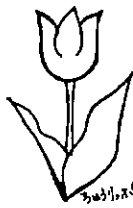
矢野美智子

見た感じと違って？3月に尚短期大学を卒業したばかりです。先輩方を見習って頑張ります。



笠松 正秀

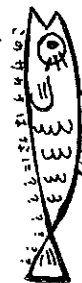
北九州の専門学校を卒業し、4月から三気の里で勤務しています。僕は、多良木出身です。一日一日を大切にしていこうと思います。



新入園生紹介

美緒さん

3班木工班に仲間入りした美緒さんです。趣味は、料理の本を見たり献立を立てること、神社に行くことです。



栄養の話

初夏から秋が旬のカツオには、動脈硬化を防ぐI P A、D H A、タウリンが含まれています。特に血合い部分には、肉のレバーに匹敵する栄養があり、ビタミンA、B1、B2、B12、E、鉄、Caが豊富で美肌保持、疲労回復、老化防止、貧血の予防や改善、Ca補給に最適。レバーほど脂肪がないので、肥満が気になる人も安心して食べられます。えらが赤く、縞目がよく出ているものを選び、刺身、たたき、煮付け、照り焼、味噌、そぼろなどに利用できます。血合いは、佃煮にすると美味。しかし、鮮度の低下が早く、古くなるとヒスチジンによって中毒を起しやすくなります。毒消しの働きをする生姜、ニンニク、ねぎを使うのも手ですが、早目に食べるのが原則です。

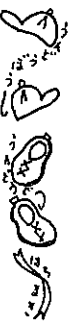
前田

スペシャル駅伝

八木 良江

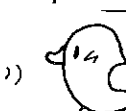
去る4月11日に、大津町主催によるスペシャル駅伝が行われました。前日の雨も上がり、新緑のまぶしいまるで夏を思わせるような天気の下、三気の里から19名のメンバーが出場しました。

Aチーム・伊石さん、国本君、荒牧君、橋村君、井上泰彰君、松井君が出場しました。皆の頑張りです。5チーム中2位になりました。これはもしかして後の2チームも上位にいくのでは？。予想どおりにBチーム・坂本さん、富田さん、中村希久男君、中嶋君、行武さん、福嶋さんのチームは1位（ゴール寸前で1位のチームが転んでラックキーにも1位になってしまいました。）Cチームの松村君、佐々木君、高木君、洋一君、隆博君、森川君のチームも、全力疾走で走り2位と大健闘でした。最後に全員出場によるパン食い競争が今回一番の走りだったようでした。ちょっと日差しが強い小春日の中、汗をかいて、日焼けをして楽しい一日でした。



5月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
26日(土)~5月5日(月)春季帰宅訓練	15日(金)春の登山	16日(土)保護者会	1	2	3		
畠田さん・久美ちゃん・藤ちゃん・芝吾くん・前田くん・英くん・松島さん・橋村くん・藤ちゃん・誕生日おめでとう!	29日(金)たんぼば福集日	30日(土)帰宅バス					
4 久美ちゃんの誕生日(27)	5 春季帰宅訓練終了 藤ちゃん(30)・芝吾くん(21)の誕生日	6	7 1班レク	8 前田くんの誕生日(26)	9 英くんの誕生日(32)	10	
11	12 松島さんの誕生日(59) 5班レク	13	14	15 春の登山	16 保護者会	17	
18	19 3班レク	20	21 2班レク 橋村くん(28)・藤ちゃん(25)の誕生日	22	23	24	
25	26	27 4班レク	28	29 たんぼば福集日	30 帰宅バス	31	



※敬称略

☆生け花 西村 栄子  
☆散髪 坂本シマコ・松尾 博美  
中武 優

（ボランティアありがとう）  
満原

暖かい日差しに包まれ、草花がすくすくと育ち、私たちの目を楽しませてくれています。大変過ごしやすい季節となりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。新年度に入り、職員・園生共に新しいスタートを迎えました。スタートから約1カ月が過ぎようとしています。また、新人職員も仲間入りし、四苦八苦しながらも頑張っています。新しい雰囲気です。トした三気の里へ、ボランティアの皆様、是非遊びにいらして下さい。元氣一杯の彼らが皆様のお越しをお待ちしています。詳しくはボランティア担当の（國岡・麻生・満原）まで御連絡下さい。

ボランティア通信

退所にあたって  
博美さん

3月27日をもって、博美さんが三気の里を退所されました。ネット班で頑張ったことを忘れず、新しい施設でも健康に気をつけて、明るく元気に頑張ってください。

佐藤



食卓至呂卒業中

桜も散り、すぐそこまで夏が来ていますが、皆様方はどうお過ごしでしょうか。厨房にも新人の矢野さんが入って来てにぎやかな日々を送っています。私は今まで先輩方に頼ってばかりで、いざ教える立場になると戸惑う事があります。そう思うと、もうあまり先輩方に甘えてもいられないようです。と寂しいですね。これから、どんどん暑くなりますが、暑さに負けないように頑張りたいと思います。

堀尾

編集後記

笠松：『えっ、僕が編集長』  
石井：『これで後1年か』  
他編集員：『それはないでしょう』

岩本